



SPRING HILL NEWS LETTER

名古屋
デラあち〜
がや?!



海外では通じない和製英語について

プロ野球が開幕してしばらく経ちます。仕事後、ナイター(nighter)を見ながらビールという人も少なくないのではないのでしょうか。このナイターというのは、広く使われてはいますが、じつは日本人が発明した和製英語というのをご存知でしたか。ちなみに英語で nighter という、 all-nighter の略。all-nighter は俗な表現で「終夜」「徹夜」という意味になり、全く意味が違ってきます。他にも、日本人が発明した海外では通じない英語は多々あります。今回は、その一例をご紹介しますと思います。喫茶店で頼むアメリカン・コーヒーは、英語では「mild coffee」。好きな食べ物を取り放題のバイキングは、英語では「smorgasbord」。フリーダイヤルは、英語で「toll-free number」。オイルショックは、英語で「oil crisis」。ノータッチは、英語で「untouched」等々…。

では、ここで1つ質問をさせていただきます。ウォークマン(WALKMAN)は、海外で通じる和製英語でしょうか。通じない和製英語でしょうか。文法的には、ちょっとおかしい和製英語とされていたウォークマンですが、最近では意味は通じなくても、世界的に認知され誰もがわかるようになり、通じる言葉になっているそうです。ちなみに英語の辞書にも、WALKMAN は掲載されています。

ちなみに、ソニー創業者のご自宅は、当社「知多支店」の近くに 있습니다。



編集長「かじた」のつぶやき・・・

先日セブンイレブン行ったんですけど、少しネタ元に対して「失礼」な感じで、あんま良くないかもですが、面白かったんで是非共有したいと思います・・・(きっと面白いと思います・・・) 何の話かと言うと、近所のセブンイレブンのバイトの行動です。結構笑えたので・・・。

その日はいろいろあって、急きょ「アンパンマンミュージアム」に行ったんですね。子供と奥さんとで行ってきました。意外に名古屋からは近くて40分もあれば行ってしまいうんですね。暑いながらも風のある日で、まあわりと家族で満喫してきました。そして、その帰りのセブンイレブンで事件は起こりました。

まずですね、私が入った時、そのB君(バイトなんでB君としましょう)はちょうどレジに「お待ちのお客様こちらへどうぞ～」の瞬間でした。まあ、レジが2つあって、一方がレジ中なので空いてる方に誘導するのはまあ当たり前ですよね。ついで、私はそもそも店に入る前に買うものが決まっていたので、すぐにレジに向かったんです。B君はちょうど対応が終わったみたいで、レジから出てくる。そして私はレジ待ちで並ぶ。その時も隣のレジは同じお客さんがまだレジをしていました。宅配系で結構時間かかっていたみたいです。

私：並んでいる。 →B君：私の隣を通り過ぎる。 私：疑問に思う。「こちらへどうぞ～」じゃないの?? →B君：そのまま店内をウロウロする。 私：待つ。 →B君：ウロウロする。 私：依然待つ。 →B君：気付く。「こちらへどうぞ～」発動。 私：レジに行く。(何だったのあの待ち時間??)・・・私の購入物：氷 20の割れてるやつ×2袋・炭酸水 500ml×3本・マカダミアクッキー×2袋 →B君：ピッピッピッ・・・バーコードを読む。そして突然、「氷は他の物と一緒に入れてもよろしいですか～」 私：・・・別にええがな、と思いながら「はい。大丈夫です。」 →B君：ガサガサと袋を出す。凄く袋が小さい。 私：初見でこれ絶対入らないと思うも「ワクワク」してきた。(B君、絶対何かやりそう。今までの行動が非常に期待を持たせるものだし!!) →B君：まずは氷を2つ入れる。状況的に既にパンパン。一目瞭然だがそのまま次の炭酸水に手をかける。一本入れる。(もう無理よ。)そして次の一本に手をかける・・・。袋に入れようと試みるも入らない事に気付く!! (おそっ) 私：・・・

(沈黙) →B君：「お客様すみません、袋が小さかったのですすぐに入れなおします。」 私：あっ大丈夫です。

まだまだB君の戦いは続く・・・